

2014年8月

## 集中治療に携わる看護師のための臨床的・ラダー 運用について

日本集中治療医学会看護部会

集中治療では、高度な臨床判断能力と看護スキルが求められる。そのため最新の幅広い知識や技術を再確認しながら学習し、優れた看護実践能力を中心に臨床現場で役割モデルを果たすことができる人材（人財）の育成が必要である。今回、日本看護協会の臨床的・ラダーを参考に、日本集中治療医学会看護部会として「集中治療に携わる看護師の臨床的・ラダー」を作成した。

本ラダーでは、自律・自己啓発・責務と協働という社会的基礎能力もふまえ、単に集中治療看護の専門的な知識・技術だけでなく、医療チームの中での調整力を養えるような本学会における教育システムの基盤となるものである。

### 【目的】

1. 集中治療に携わる看護師の実践能力の向上をはかる。
2. 臨床的・ラダーを通して自己の目標を明確にし、主体的なキャリア形成を支援する。

### 【ラダーの活用】

1. 各施設の背景や教育方針、看護理念等に基づきラダーを作成する際の参考資料とする。
2. 評価方法は、各施設の状況に合わせて作成する。

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
臨床実践能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集中治療領域における主な疾患のある患者看護が展開ができる</li> <li>2. 集中治療領域における基礎看護技術ができる</li> <li>3. 感染・事故防止対策ができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集中治療を受ける患者・家族の特徴を理解したうえで看護が実践できる.</li> <li>2. 複雑な病態に応じた看護ケアが提供できる.</li> <li>3. 補助循環装置・人工臓器装着患者のケアができる.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の病態を予測的に判断でき、意図的に関わることで重症化を回避できる</li> <li>2. 専門的な医療機器について熟知し安全対策ができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識と経験を融合させ速やかに患者を理解し合併症予防のためのケアができる</li> <li>2. 多職種と協働し患者の問題解決にむけて活動できる</li> </ol>
組織的役割遂行能力	担当患者に対する報告・連絡・相談ができる	看護チームの一員としてリーダーの役割を理解しメンバーシップを発揮できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護チーム内でリーダーとしての役割が発揮でき、スタッフナースを指導できる</li> <li>2. 看護チームを動かしていくために他職種との調整ができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療チームや社会資源の活用についてコーディネートできる</li> <li>2. 多職種とタイムリーにディスカッションができ、看護チームの立場でアサーティブに対応ができる</li> </ol>
自己教育研究能力	セミナーなどに参加し知識の向上を図ることができる	学術集会などに参加し自己の知見を広げることができる	研究を実施し自施設(部署)の看護実践を評価することができる	研究や文献を活用し看護ケアを見直すことができる
看護倫理	集中治療に携わる看護師の倫理綱領を理解できる	自身が感じる倫理的ジレンマに気づき相談できる	患者の権利擁護ができる	患者・家族の意思決定支援ができる